



家読だより

平成27年11月17日
第3号

大子町立依上小学校

読書の秋

校舎の耐震工事に伴い体育館での生活も2か月になりますが、子供たちは元気に生活をしています。図書室の利用はできませんが、大子町の全ての学校に石井様という方から寄贈していただいた『石井文庫』やプチ・ソフィアからの配本図書を活用しています。



「石井文庫」

「新聞コーナー」

「プチ・ソフィアからの配本図書」

依上小学校 校内読書月間

依上小学校では、10月と11月を校内読書月間とし、いろいろなイベントを企画しております。その一つが、学校内外の方々による読み聞かせ活動です。日頃接している担任の先生は勿論、他の学年の先生、担任をしていない先生、卒業生（大子西中学校1年生）、PTA女性ネットワーク委員様、大子町の読み聞かせサークル「森のおはなし会」の皆様にご協力いただいております。子供たちは、いろいろな声の、いろいろな読み方による、いろいろな内容の図書に触れ、目を輝かせて聞き入っております。どうぞご家庭でも、どんな方から、どんなお話を聞いたのか、話題に挙げてみてください。



「さるとかに」

森のおはなし会の皆様が手作りした大型絵本の読み聞かせです。ステージ前に全校生が集い、いろいろな役柄の方の工夫した声の出し方に、お話の世界に引き込まれ、楽しいひとときを過ごしました。感想発表では、自然に手が挙がり、かにかの気持ちになって考えたことやおもしろかった場面についてことが発表されました。



「ねねのねこ」

『石井文庫』の中から選んだ本です。「その本、読んだことある～」という子も、校長先生の手作りお面や、途中途中の質問に、大喜び。「ねこが～、ねてる。」「じゃあ、この絵は、ねこが～、なにしてるかな～？」子供たちは、一生懸命「ね」から始まる言葉を探し始めます。初めて聞く言葉も出てきたようで、楽しみながら勉強できました。